

夏季教育課程研修会 報告

令和6年度は4年ぶりに全日開催となりました。1日たっぷり時間を使い、報告や実践発表、講演を聞くことができ、とても有意義な時間となりました。

【日時】 2024年8月22日(木) 9:30～16:40

【会場】 波止場会館

【内容】

□ 横浜市教育課程研究委員会報告

(総則)	東山田中学校	石田 美保先生
(特別活動)	寺尾中学校	白浜 郁子先生
(保健体育)	鶴ヶ峯中学校	土田 直美先生
(食育推進プロジェクト委員会報告)	大鳥中学校	則島 浩子先生
	城郷中学校	大久保 朝美先生



□ 実践発表

①主体的に行動できる生徒の育成 ～学校保健活動の有機的な連動を通して～

青葉台中学校 松浦 美智子先生

令和元年から4年間の学校保健委員会の活動内容を紹介していただきました。生徒自身の中で関心の高い健康課題をテーマに設定するため、全校生徒へのアンケートの実施や実態調査、問題点について、生徒保健委員会が企画運営しているとのことでした。先生が大切にされていることとして、外部講師との連携や教職員巻き込み型の企画ということがとても印象的でした。実験や科学的データに基づく発表内容、機器を活用した数値の提示、各教科領域との関連性、ICTの活用など興味の湧く手立てばかりで、見ている側もワクワクしながら聞かせていただきました。



②養護教諭が行う授業づくり ～包括的性教育へのチャレンジ～

矢向中学校 播磨屋 萌先生

全学年に包括的に行っている性教育の中から、2年生の「デートDV」の指導内容のパワーポイントと授業の様子を動画でご紹介いただきました。学年単位での一斉指導を行い、自然な対話で学びを深めることを目標にしていたので、先生の親しみやすいお人柄も含め、生徒も安心して意見を述べる事ができていました。学年の先生方にデートDVの例を示す寸劇を行っていただき、デートDVとはどういうことなのかを分かりやすく示していました。

□ 講演

「SOSの出し方教室と受け止め」

講師 一般社団法人高橋聡美研究室 代表

BPO（放送倫理・番組向上機構）放送と青少年に関する委員会委員

中央大学人文科学研究所 客員研究員

高橋 聡美先生

“つらいときはSOSを出して良いんだよ”という子どもへ向けたメッセージの内容がとても勉強になりました。また、『あきらめずに3人目までの大人に伝えて』という言葉が印象的で、SOSを受け止める教員側の対応策がいくつかありました。その中で、教員がジャッジしない、アドバイスをしない、ありのままを受け止めることで受容・傾聴につながり、子どもにとっての安心安全な相談者となることができるようになることを学びました。

